

高齢者虐待が増加！身近な問題として考えよう！

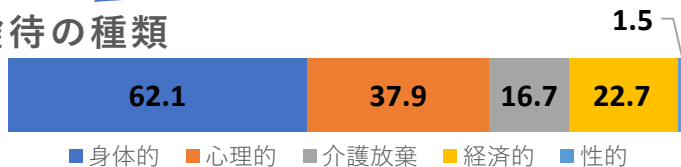
高齢者虐待は全国的に増加傾向にあり、特に家庭内虐待の件数が増えています。秋田県においても相談・通報件数が増加しています。虐待は身近に起こりうることであり、現状を正しく把握した上で虐待の防止、早期発見・解消をしていくことが重要です。

秋田県内の高齢者虐待の現状

秋田県令和2年度家庭内虐待の現状
相談・通報件数 177件

身体虐待、心理的虐待の順に多い

虐待の種類



被虐待者の約8割が女性

被虐待者の性別



被虐待者の約7割が75歳以上

被虐待者の年齢



約5割が我が子からの虐待

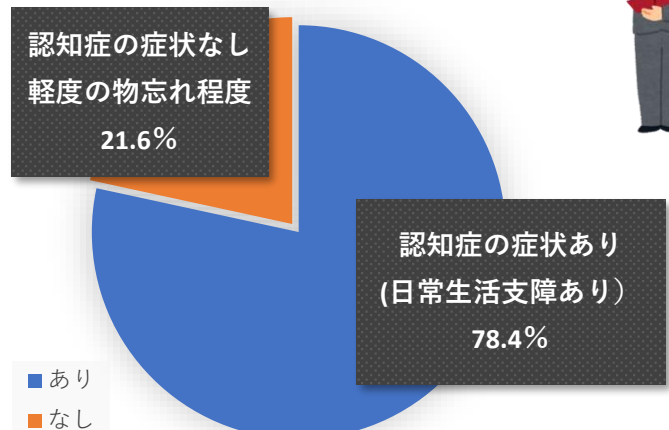
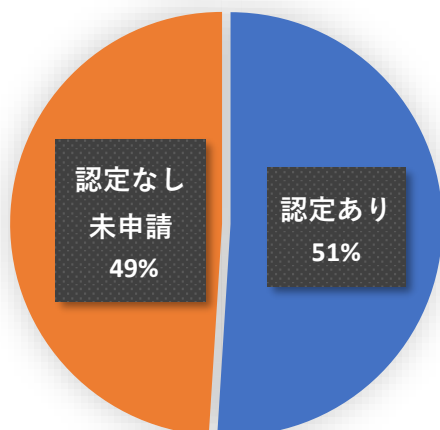
虐待者と被虐待者との関係



認知症と高齢者虐待

家庭において虐待を受けた高齢者のうち、要介護認定を受けている方は約5割で、8割の方に認知症の症状が見られます。認知症の症状に対してどうしてよいかわからないなど、混乱を招きやすい現状があります。それだけに、介護する側や地域の方々が認知症を正しく理解することが大切です。

被虐待者の要介護認定と認知症の有無



高齢者虐待はどうして起きるのでしょうか？

高齢者虐待は様々な要因が重なり合って、発生するものです。最近では新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、自粛生活が長期化することで、高齢者本人や同居する家族等の負担が増していることも考えられます。表面上の行為のみにとらわれず、その背景にある様々な要因を探り、状況を正確に把握することが大切です。

高齢者の虐待を防ぐには・・・

地域での支え合い

理解

虐待が起きる原因は様々です。介護する・される側双方の不安や悩みを理解することが大切です。



見守り

ご近所に気になる高齢者や介護をしている家族がいたら、ちょっとした声掛けをお願いします。



相談

困りごとを抱えている高齢者や家族がいたら、地域包括支援センター等への相談を勧めましょう。



一人で、家族だけが
がんばりすぎないで

介護負担の軽減

介護保険サービスを上手に使うって、介護負担を減らしましょう。

●主なサービス

・通所介護(デイサービス)/通所リハビリテーション(デイケア)

日帰りで食事・入浴などの介護や心身のリハビリテーションを受けられます。

※介護者が自分の用事や外出する時間が持てます。

・訪問介護(ホームヘルプサービス)

ホームヘルパーが自宅を訪問し、食事、入浴、排せつなどの介護をします。

・短期入所(ショートステイ)

施設などに短期入所し、食事、入浴、排せつなどの介護や看護をうけられます。

※介護者が休養したい時、冠婚葬祭で介護ができない時も利用できます。

★サービス利用には・・・担当のケアマネジャーもしくは、地域包括支援セン

ターへご相談下さい。



編集後記

令和元年に初めてコロナウイルスが確認され、早3年半が経ちました。多くの行事がなくなりましたが、感染予防対策をしっかりとすることで、今年は3年ぶりに竿燈祭りも開催されました。このような生活状況ではありますが、日々の生活に楽しみを見つけ、笑顔で過ごしていきたいと思えます。

出張講座のご案内

包括支援センターでは地域のサロンや会議、会合などにも無料出張いたします。お気軽にお問合せください。

【発行】御所野地域包括支援センター けやき

秋田市御所野下堤五丁目1番5号

電話：838-6382 (直通)

826-0651 (代表)

FAX：826-0652

